

東濃社会教育だより No.5

-CSと地域学校協働活動編-



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

地域学校協働活動支援プログラム（出前講座）の様子から

第3回瑞浪市社会教育委員会定例会

日時：8月6日（火）
場所：瑞浪市総合文化センター
講師：岐阜大学地域協学センター 益川浩一教授
演題：「地域社会と学校の連携と協働」
地域学校協働活動について

瑞浪市社会教育委員会は、「地域・家庭・学校の協働による地域づくりの取り組み」をテーマとして調査研究を進めています。



今回は、研修の一環として、ぎふ地域学校協働活動センターの出前講座を開催し、益川教授から「地域の現状や課題」「これからの教育」「コミュニティ・スクールの成果」など多くのことを学びました。委員からは、益川教授への質問が多く出され、活発な意見が交わされました。益川教授からは、「熱心に活動している瑞浪市社会教育委員には大変期待している。」と励ましの言葉をおくっていただきました。

今年度は、学校の願いを把握するために、市内の小中学校、幼稚園を対象にアンケートをとりました。また、今後持続可能な態勢のために必要なことについて協議し、年度末には、2年間の研究の成果を提言書にまとめて、教育委員会に提出と報告をされるそうです。

【地域学校協働活動支援プログラムの紹介】

趣旨：各市町村における地域と学校の協働活動の推進を目的として、市町村や社会教育関係団体と連携し、地域学校協働活動や学習支援活動等を地域で支える仕組みづくりを支援し、県内各地域での自主的な実践活動を促進する。

主催：ぎふ地域学校協働活動センター
（岐阜大学、岐阜県）

内容：市町村に岐阜大学の教員及び学生を派遣し、地域学校協働活動の推進体制の総合化・ネットワーク化、特色・魅力ある地域学校協働活動の展開を目指す市町村に対する支援を行う。

- ① 事業支援：活動の視察、事業の相談、実施の支援（研修会・学習会の開催）
- ② 出前講座：講演、事例紹介、ワークショップ等

【講話内容 抜粋】

・地域の中に、人間関係（顔の見える距離における、あてにし、あてにされる関係＝ソーシャル・キャピタル）を蓄えること。

【協働活動を推進していく際の留意点（講話より）】

- ・地域と学校の協働は、「子どもの豊かな学び・育ちを保障し、教育目標を達成する」ための「手段」であって、「協働のための組織を作ること」や「協働すること」が「目的」ではない。
- ・「あるもの活かし」の発想で、地域の資源（人・団体・モノ等）を再度洗い出してみる。
- ・目的・目標を共有するとともに、協働することによって創出されるメリットを実感することが重要。

第1回 恵那南地区 学校運営連合連絡協議会の様子から



日時：8月21日（水）

場所：恵那市山岡振興事務所

- ・各校の学校運営協議会の交流
（岩邑小学校、岩邑中学校、山岡小学校、
山岡中学校、明智小学校、明智中学校、
串原小・中学校、上矢作小・中学校）

恵那市は、平成30年度からすべての小中学校が、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度を取り入れた学校）になりました。恵那南地区は、年間2回、学校運営連合連絡協議会を行い、よりよい学校運営を目指して、各小中学校の取組を交流しています。今回は、恵那南地区の小中学校の学校運営協議会委員（三学塾塾長、PTA会長、小中学校長等）が40名近く参加しました。

【学校運営協議会の今後に向けて】

- ・どこの校区でも双方（学校・地域）が支え合っている。さらなる実践を積み重ね、交流したい。
- ・会長や校長が変わっても、継続可能な仕組みを目指したい。
- ・地域の方が「地域のまちづくり」と同様に「学校づくり」を考えてくれている。人材の発掘が必要。コーディネーター（地域学校協働活動推進員）を育成していきたい。

学校運営協議会は、校長の経営方針を承認し、学校の運営及び必要な支援に関して協議する機関です。この仕組みをうまく活かすためには、コミュニティセンターや自治会、地域の各団体との協働（地域学校協働活動）が必要となります。今回は、生涯学習課や子育て支援課等からの参加もあり、さらなる活動の推進が期待されます。

地域学校協働活動推進員研修会（3回目）の様子から

今回の研修では、社会教育主事として、白川郷学園と地域との協働活動に関わってこられた新谷氏と日本女子大学教授の田中氏からお話を聞きました。

「ふるさと白川郷に夢と誇りをもった白川っ子を共に育む～将来の担い手育て～」をテーマとした白川村の実践から、学校と地域の主体的な関りの大切さを改めて感じる講話でした。

日時：8月1日（木） 場所：恵那総合庁舎

講師：白川村教育委員会事務局

社会教育主事 新谷 さゆり 氏

日本女子大学 教授 田中 雅文 氏

内容：地域学校協働活動の実際を学び、地域学校協働活動推進員の使命や役割を理解する。（講義＋質疑応答）



持続可能なコミュニティスクールポイント

【講義より抜粋】

- ・学園課題・地域課題を確認する
- ・学園と地域の共通の願いをもつ
- ・共通の願いに向けた責任と役割をもつ
- ・学園側の「責任と役割」を増やさない
- ・だれもが当事者意識をもって楽しく関わる